

『標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版』 正誤表

このたびは『標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

第1刷（2021年3月1日発行）および第2刷（2022年1月1日発行）におきまして以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2021年3月4日作成、2024年3月6日更新

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1	306頁 左段 上から11行目	考える（例：図7-14）。表現内容には…	左記の赤字を削除する	2021/3/4
1	182頁 表5-18内 2行目	…左右気導聴力閾値が65dB以下	…左右気導聴力閾値が下記のすべてを満たす。	2024/3/6
1	182頁 表5-18内 5行目	400Hz, 8,000Hzの聴力閾値が…	4,000Hz, 8,000Hzの聴力閾値が…	2024/3/6
1	182頁 表5-18内 6行目	聴力検査, 権聴力検査で判定…	聴力検査, 語音聴力検査で判定…	2024/3/6
1	182頁 左段 下から10行目	…多いため, 聴力進行の経緯…	…多いため, 難聴進行の経緯…	2024/3/6
1, 2	89頁 図4-13内 III型の図	III型（断続音で一過性閾値上昇）	III型（持続音で一過性閾値上昇）	2022/2/7